

科目名	施設実習Ⅱ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
実習	選択	2	2	通年			
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格	児童厚生二級指導員 必修 保育士資格 選択				
授業概要 児童厚生施設又は障害児入所施設その他社会福祉関係諸法令に基づいて設置されている施設について、その概要を知るとともに、養護をはじめとする援助活動の方法や技術について学ぶ。また施設利用者を取りまく家庭・地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉ニーズに対する理解を深める。							
到達目標 児童館実習においては、児童館で行われているプログラムや諸活動に実践的に関わることで、児童館の概要や社会的役割、児童厚生員の職務や専門性について学ぶ。また、児童厚生員に求められる資質、能力、技術に照らし合わせて、自己の課題を明確化させる。 児童館を除く社会福祉施設における実習については、施設利用者と生活を共にする中で、障害や年齢による心理的・身体的・社会的特性を理解し、介助、療育、養護活動に参加して、指導・援助の方法を理解する。また、施設利用者の家族、地域住民とのかかわりを知り、施設の社会的役割について理解する。			成績評価方法 実習評価表、実習日誌、提出物による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		90

授業計画と概要		アクティブラーニング
<p>児童館実習は次の通りである。</p> <p>1.対象施設 原則として県内の児童館 実習施設の選定にあたっては、通勤の便等を考慮して決定する。</p> <p>2.実施時期及び実習期間 時期：2年次 原則として冬休み 期間：10日間</p> <p>3.実習の流れ おおむね①から③の流れで進行する。 ①見学・観察実習 ②参加実習 ③指導実習（部分指導実習）</p> <p>4.実習配属人数 1施設あたり、原則としておおむね2名以内とする。</p> <p>5.勤務形態 実習生は実習施設の職員に準じて勤務し実習を行う。</p> <p>6.事前・事後学習 ①事前学習 児童館実習の目的、実習施設に対する情報収集、実習生の心がまえ、実習計画の作成、目標の設定、プログラムの立案・作成、等 ②事後学習 児童館の機能・役割についての理解、目標の達成度評価、児童厚生員の職務と専門性についての理解、等</p> <p>7.備考 児童館以外の施設における実習についても、上記に準じて実施する。</p>		
授業外学習		
<ul style="list-style-type: none"> ・実習事前準備として、実習施設について調べるとともに、指導案の作成、教材研究等に積極的に取り組む。 ・実習期間中においては、実習日誌の作成、指導案の修正、教材研究等を実施する。 		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
『児童館論』児童健全育成推進財団編	施設実習指導□	
備考		
【オフィスアワー】近藤 鉄浩 kondo@ube-c.ac.jp		